

C ONTENTS

Web上の図書館サービスと検索システムを積極的に活用しよう	1
所蔵資料紹介：The Handmade Papers of Japan	4
閉架書庫への入庫のすすめ	6
マルチメディアミニ活用術—第2回—(写真の色を調整してみよう)	7
初期パスワードは変更していますか?	8
総合情報センターのホームページをのぞいてみよう!	8



2004 Sep. **No.28** University
総合情報センター報
Library and Information Technology Center

Web上の図書館サービスと 検索システムを積極的に活用しよう

学術情報(図書館)システムが変わり、Web上でできる
たくさんの新しいサービスや様々な資料検索システムを
提供しています。図書館利用者の皆さんはご存知でしょうか?

- 借りている資料の返却期限日を知りたい
- 借りている資料の貸出期間を延長したい
- 購入希望の資料の検討結果はどうなったのか?
- 文献複写や現物貸借を申し込みたい

など、今までは図書館まで足を運ばなければできなかった
ことや知ることができなかったことが、Web上でできるよ
うになりました。

また本学の所蔵資料を検索するDOORSや携帯電話版
DOORS(MyDOORS)の他にも、他大学や商用データ
ベースとの横断検索や、Z39.50プロトコルでの国内・
海外の大学との横断検索など様々な検索システムを提供
しています。

その一例についてご紹介いたします。

DOORS=DOshisha Online Retrieval System

POINT!

- ① DOORS、統合検索やデータベースを使いこなそう
- ② 携帯電話版DOORS(MyDOORS)を使ってみよう
- ③ Webサービスを活用しよう
- ④ My Libraryにログインしてみよう

統合検索やオンラインデータベース を使ってみよう

レポート・論文作成の資料を収集する時に、DOORSで
本学の所蔵資料のみを検索していませんか?今回は、
資料収集の世界を広げるために、MAGAZINE PLUSを
用いた統合検索の検索例をご紹介します。

MAGAZINE PLUSは、雑誌記事・論文情報の国内最大級の
データベースです。レポート・論文テーマのキーワードから、
記事・論文名、収録誌、巻号が見つければ、統合検索の
「本学所蔵確認」機能を使って、その雑誌を本学で所蔵して
いるか検索できます。

所蔵していない場合には、他大学に複写依頼を行うこと
もできます。

検索例 統合検索はDOORSからリンクしています。

①『統合検索へ』のボタンをクリック

②MAGAZINE PLUSにチェックを入れ、検索項目を入力します。

③検索結果件数が出ますので、件数の部分をクリックすると、MAGAZINE PLUSの画面に遷移します。

横断検索
タイトル
著者
キーワード
検索
検索履歴

借りている資料の期間を延長したいときは!
(Webサービスを活用しよう!)

図書館に行かなくても、Web上で貸出更新ができます。
更新画面はDOORSからリンクしています。

貸出一覧(1件)

No.	資料ID	所蔵館	種別	返却期限	注意	予約	更新
1	0191062468	大谷	一般	20040714		0	<input type="checkbox"/>

①『利用問い合わせ』をクリックします。

②貸出冊数の『一覧を参照する』をクリックします。

③更新したい資料を選択(右の『更新』)のところにチェックし、『貸出更新を行う』をクリックします。

④貸出更新を行った日を基準に、返却期限日が更新されます。ただし、予約がかけられている資料や、延滞中の資料がある場合は貸出更新はできません。

携帯電話版DOORS (MyDOORS) でも『利用問い合わせ』や『予約依頼』ができます

<http://mydoors.doshisha.ac.jp/>

DOORSと同様に携帯電話で、資料を検索することができます。ただし逐次刊行物は、検索対象としていませんので、ご注意ください。その他にも探している図書が貸出中の場合は、予約依頼を申し込むことができます。また、自分が何冊借りているかわからなくなった場合や、借りている資料の返却期日が分からなくなった場合も、『利用状況確認』から調べることができます。(予約・利用状況確認機能はi-mode、Vodafone liveのみ対応しています。)



My Libraryにシングルサインオン機能が追加されます!
(今年度中に提供予定)

シングルサインオン機能の追加で、My Libraryに一度ログインすれば、図書館の全てのWebサービスを認証なしに利用できるようになります。

My Libraryとは、蔵書検索や利用状況確認、Web上の情報収集のリンク集、図書館からのお知らせなどが一つの画面でわかる学術情報のポータルサイトです。

ぜひ一度DOORSの左フレームの『My Library』にログインしてみてください。

※詳細は変更される可能性があります。ご了承ください。



④ISSN(国際標準逐次刊行物番号)が記載されている記事は、ISSNが黄色くハイライトされ、上から順に自動的に上フレームの欄に値が入力されます。探している記事が載っている雑誌のISSNを入力し、本学所蔵確認を行います。

本学で所蔵している場合



⑤図書館で所蔵していない場合でも、学内の各研究室や同志社女子大学で所蔵している資料を利用することができます。ただし、各研究室によって利用方法が異なりますので、詳細は両図書館メインカウンターでご相談ください。

本学で所蔵していない場合

⑥この記事を読みたいと思ったら文献複写を申し込みたい場合、上部にある[複写依頼]をクリックし、文献複写を申し込むことができます。また、レファレンスカウンターで紹介状を受け取り、直接閲覧に行くこともできます。

貸借依頼も同様にWebからでも申し込みができます。
このように図書館に行かなくても複写・貸借の申し込みを行うことができるようになりました。
今後も対象データベースの追加などサービスを充実させ、より快適な、より利便性の高い検索システムを提供していきます。
ぜひ資料収集の際には統合検索もご活用ください。

※ご注意
NII検索でもDOORS検索でも必ずしも書誌事項にISSNが入力されているわけではありません。ヒットしない場合でも個別にタイトル等でDOORS、NACSIS WebcatやNDL-OPACで再検索してみてください。
MAGAZINE PLUS・BOOKPLUSは学内ネットワーク接続のみご利用できます。

所蔵資料紹介

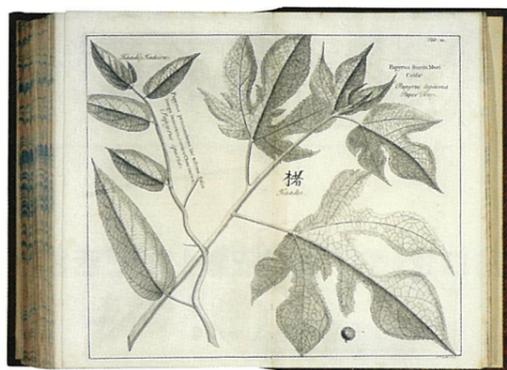
今出川図書館 貴重室 [585.6 || T9601 || S. 1~4]

The Handmade Papers of Japan『日本の手漉紙』

欧米人を魅了した手漉和紙

「非常に美しい色紙で、まるで木綿か絹製品としかおもわれぬ立派な出来である」

江戸時代中期、長崎出島のオランダ商館医師・ドイツ人ケンペルは、帰国後刊行した著書『廻国奇観』(1712)のなかで、こう日本の手漉和紙を讃えている。また彼は手漉和紙の原料および製法を詳細に記録し、ヨーロッパ世界に初めて日本の和紙を知らしめた。



ケンペル『日本誌』楮の図より
[291.09 || K9211] 今出川図書館 貴重室

これは、日本人の手になる寛政10(1798)年刊行の『紙漉重宝記』、天明4(1784)年の『紙漉大概』に遡ること70年以上も前のことだった。その後もスウェーデン人医師ツンベルグやドイツ人博物学者シーボルトら、来日外国人の多くが和紙の素晴らしさに魅了され、世界に紹介することになる。

開国から明治以降も、ドイツ人のオイレンブルク、イギリス人オールコックなど駐日公使らによって和紙製造の情報が集められ、1862年のロンドン万国博、1867年のパリ万国博での出品物となり、広くヨーロッパの耳目を集めることになった。昭和に至っても欧米人の和紙に対する深い関心はやむことなく、多くの紙研究家が来日した。とりわけ紙の虜ともいべきアメリカ人研究者ハンターは、世界各地の紙のなかでも「全製紙技術の奇蹟」と日本の和紙を褒め讃えている。

和紙の美に魅せられた欧米人たちは、多くの和紙研

究書を著した。そのなかで、ひとときわ精彩を放ち和紙研究の金字塔と謳われているのが、今回紹介する Thomas Keith Tindale, *The Handmade Papers of Japan* (Charles E. Tuttle, 1952)である。

The Handmade Papers of Japan『日本の手漉紙』

著者ティンダル(Thomas Keith Tindale 1909-1981)は、終戦直後に来日して連合軍司令部の人事顧問・大学行政担当の要職を務めた人物である。在職当時たまたま訪れた内閣抄紙局で目にしたスカシ入りの和紙の美に魅せられ、全世界への紹介を思いつくことになった。退職後は8か月のあいだ日本に留まり、各地の紙漉村に足を運んで資料を集め、妻のハリエツとともに一冊の書物に纏め上げたというのが製作の由来である。

本の構成は、以下の4巻からなる。

VOL.1 The Handmade Papers of Japan

VOL.2 The Seki Collection

VOL.3 The Contemporary Collection

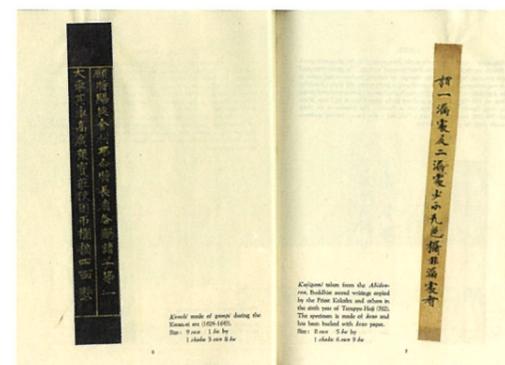
VOL.4 The Watermark Collection

VOL.1はティンダル自らが各地の紙郷を訪ねて調査した報告書で、手漉和紙の製紙法を在日外国人美術写真家の最高峰をゆく人、フランシス・ハーンによる写真入りで紹介したものだ。VOL.2からVOL.4は篤志家から提供された和紙コレクションを標本紙として貼付、合綴したものである。これらの標本紙をみると、一種ごとに持つ素材、彩の美しさに言葉が失うほどである。また付録には、楮や三椶の実際の繊維まで付されている。

標本紙は非常に貴重なもので、門外不出とされていた印刷局の透き入れ美術紙20点も含まれる。ティンダルがこれらを手に入れたのは、日本人との協力関係、特に製紙業界からの支援があったからこそである。ティンダルの熱意にほだされ、時の三菱製紙常務取締役・関義城が所有する天平時代以降1200年間に作られた和紙225種、森沢日本和紙組合長所有の現代日本紙150種、



それに内閣抄紙局西大寺(岡山)分工所・長和田氏所有のスカシ入り和紙コレクションが次々に提供されたのだった。



写真はVOL.2 *The Seki Collection* の内容を一部示したものだ。天平時代の写経、鎌倉時代の紺紙の実物を標本紙として切り取って貼付している。このように手漉和紙の歴史を典型的な標本紙と解説文によって迎えることが可能となっている。

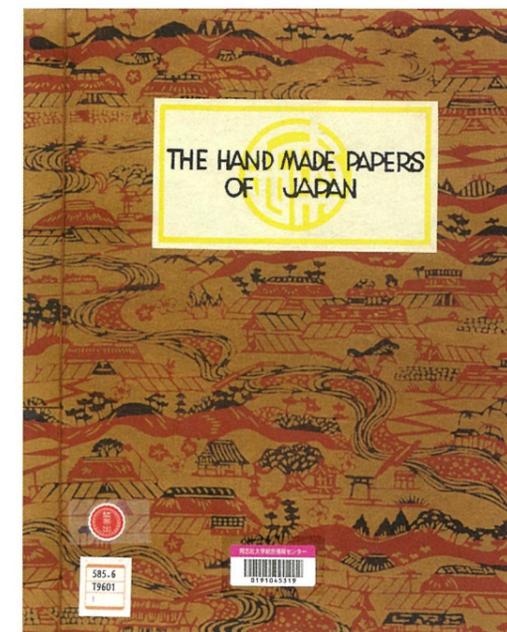
ティンダルと日本人協力者たちの友情

その伝記を繕いてみると、ティンダルは目的にむかって真摯に邁進し、物事を最後までやり抜く性格を持った人であった。和紙研究に対する前向きな姿勢と探究心に共鳴した英文学者・和紙研究家の寿岳文章や先の和紙研究者・関義城らを動かし、厚い友情が育まれた結果この書物が誕生することになった。

また出版に尽力したタトル社のチャールズ・タトルは、日本とアジアに関する書籍を刊行して日米両国の相互理解を推進する出版活動を行った人物である。その功績により1983年には昭和天皇より勲三等瑞宝章の下賜を受けた。このようにみえてくると、日米の人々の稀有な出逢いと友情がこの書物を生んだといえよう。

この友情を示すため、著者の自序、アメリカ人紙研究家ハンターの序文で始まるタイトルページには、「東」「西」のモノグラムが中央に配されている。国際協力によって完成したこの書物の精神を伝え、東洋と西洋の融

合を象徴するためにデザインされたものである。



タイトル中央の模様がモノグラム

本学の所蔵本

The Handmade Papers of Japan は1952年に250部限定版で刊行された(非売品)。ティンダルの母校であるスタンフォード大学など外国の有力大学、各国の元首クラスに寄贈されたという。

本学所蔵のものは、限定出版に先立ってつくられた見本版で、発行者のタトル自身が所有していたものである。なかには、彼が集めた和紙に関する新聞の切抜きや和紙に関する展覧会のカタログなどが添えられている。

限定版のため日本での所蔵館は少なく、また貴重な標本紙を含む性質上完全複製は不可能とされ、多くの研究者にとって幻の名著であったが、幸運が重なり、数年前に本学でもこの書物入手することができた。興味を持たれた方は一度手にとって、和紙の素材、彩の美しさを是非とも堪能していただきたい。

閉架書庫への入庫のすすめ (from 今出川図書館)



「あるはずの本がない!見つからない!」「配架場所『閉架』ってどこ?」こんな経験をされた方が意外と多いのではないのでしょうか。

今出川図書館の資料は、入館してすぐに目に入る開架資料と、閉架書庫に保管されている閉架資料の2種類に大別されます。いずれの資料も利用者が自由に手に取り、貸出が可能な資料です。

開架スペースには、現在図書約8万冊、雑誌約450タイトルが配架されています。一方、閉架書庫には、図書約46万冊、製本済の雑誌約7,500タイトルが配架されており、開架スペースには置ききれない、より専門的な資料、美術全集、古地図、大型本、統計、年鑑類等が豊富に揃っています。

「所蔵資料の心臓部は閉架書庫にあり」と言っても、過言ではないでしょう。

同志社大学創設期から120余年にわたって収集されてきた、同志社大学の財産である図書資料を大いに活用し、今後の学習に役立ててください。

入庫の手続きは以下の通りです。

- カウンターで学生証・利用カードを提示する。
- ロッカーキーと入庫章を受け取る。

ノート・筆記用具・持ち込み資料以外の持物はロッカーへ。入庫章は目立つ場所に着用する。

手続き終了後、カウンター後方の入口より入庫してください。開館から閉館の1時間前まで利用できます。なお、禁帯出・逐次刊行物以外の資料は貸出可能ですので、出庫時にメインカウンターにて手続きをしてください。

閉架書庫の利用についても、開架スペースと同様、**飲食、携帯電話は厳禁**です。また、利用後の資料は、**書架には戻さず、返却トラックまたはキャレル(書庫内閲覧机)に置いてください。**ピンクの葉が挟んである資料は、古くて傷みの激しい資料です。取扱いには十分注意してください。

今出川図書館には本が少ないと感じているあなた、お目当ての資料が見つからなかったあなた、是非一度“閉架書庫”を覗いてみませんか。

入庫条件：本学学生・大学院生・法人内教職員
本学卒業生・同志社女子大学学生

館内で利用した資料は返却台へ!

ラーネット記念図書館でも、書架の乱れを少なくし、より資料を探しやすくするために、返却台を設置しています。図書館内で利用した貸出手続きをしていない資料は、必ず返却台に戻しましょう。



マルチメディアミニ活用術

第2回 Photoshopで写真の色を調整してみよう!

ここでは、「Photoshop」を使った画像編集の方法を紹介します。

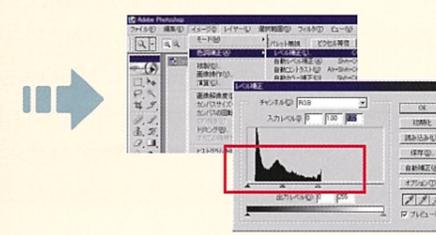
(マルチメディアラウンジのすべてのパソコンにPhotoshopがインストールされています。)

Photoshopは様々な画像の編集・加工ができるソフトですが、今回は写真の色調を調整する「色調補正」の機能を紹介いたします。

●明るさを調整してみよう



①暗く、色あせた写真



②レベル補正で明るさを調整

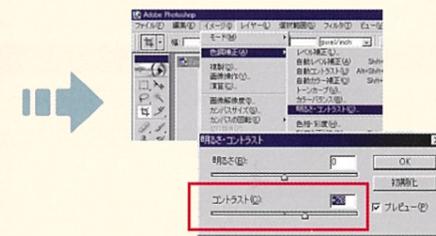


③写真が明るくなる

●写真を鮮やかにしてみよう



①明るさを調整した写真



②明るさ・コントラスト調整でコントラストを調整



③写真が鮮やかになる

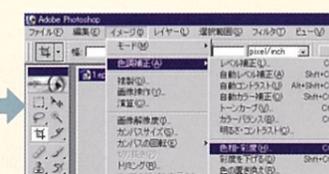
●部分的に色を変更してみよう



①色域指定ツールを利用して選択したい色を選択する
ここでは花びらの赤色を指定する

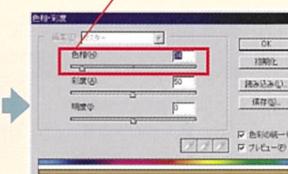


花びらをクリックする



許容量を調整する

②「色調補正」→「色相・彩度」を選択



色相を調整する

③色彩・彩度で色を変更する

④Photoshopで色補正処理を施した写真



Photoshopで色補正処理を施した写真例



Photoshopには、色彩を調整する機能もありますが、ここでは少し高度な機能として一部の色だけを調整してみました。上のような設定を行うと、左写真のように写真を美しく、また自由自在に変えることができます。授業やゼミで利用する資料のための写真やイラストをPhotoshopで編集してみませんか?

※PhotoshopはAdobe社の画像編集ソフトです。

初期パスワードは変更していますか？

本学情報環境を利用するために必要なユーザID・パスワードは非常に重要です。しっかり各自で管理しましょう。

なぜユーザIDとパスワードをしっかり管理しないといけないのでしょうか。

ユーザIDとパスワードがわからないと・・・

- 情報処理実習教室などのPCにログインできず、授業を受けることができない。
- メールが利用ができずレポートを提出できない。

もしパスワードが他人に知られてしまったら・・・

- 情報処理実習教室などのPCから不正に印刷され印刷料金を使われてしまう。
- メールを覗き見られるといったようにプライバシーが侵害される。

それだけでなく!!!

- あなたのユーザIDを不当な人が使用することにより犯罪が行われた場合、あなた自身の責任を問われるといったことなどにもつながります。

そういったことを避けるためにユーザID・パスワードはどうやって管理したら良いのでしょうか。

原則：初期パスワードは必ず変更し、暗記する

初期パスワードは容易に暗記できないよう、乱数で作成されています。よって初期パスワードをそのまま使い続けることは、多くの人にとって、ユーザID通知書を常に持ち歩くことにつながります。しかしユーザID通知書を持ち歩くことは大変危険です。いつどこでユーザIDとパスワードが悪意を持った第三者の手に渡るか誰も予測できないからです。

ユーザID通知書を受け取ったら直ちに、初期パスワードを他人に推測されない且つ自分が覚えやすいものに変更し、必ず暗記すること、それがユーザID・パスワード管理の大原則です。

自分で作成したパスワードをしっかり暗記することで、左で述べたような不慮の事態も防ぐことができるのです。

では、どのようにしてパスワードを変更するのでしょうか。

＜本学ホームページから＞

総合情報センターのネットワークの利用の「パスワード変更設定メニュー（学内）」から変更できます。

※セキュリティ確保のためパスワードは定期的に変更するようにしましょう。

＜大学の情報環境のPCから＞

デスクトップ上の「インターネット」フォルダ内に格納されている「パスワード変更設定メニュー」のアイコンから変更できます。

総合情報センターのホームページをのぞいてみよう！

<http://www.doshisha.ac.jp/gakujo/index.html>

The screenshot shows the homepage of the Doshisha University Library and Information Technology Center. The page features a navigation menu on the left, a main content area with various service links, and a right sidebar with news and announcements. Callouts point to specific features:

- 「パスワードの変更はこちらから。」 points to the password change link in the navigation menu.
- 「同志社大学の所蔵情報を調べたいときは、ここからDOORSにアクセスできます。」 points to the DOORS search link.
- 「学術情報データベースや電子ジャーナルヘダイレクトに!」 points to the database search link.
- 「総合情報センターのWhat'sNewです。最新のニュースはここに掲載しています。」 points to the news section.
- 「情報環境に関するお知らせです。」 points to the information environment notice section.
- 「今日って何時まで開いてるの?そんな質問にお答えします。」 points to the opening hours section.
- 「マルチメディア情報基礎講座 図書館の講習会情報を知りたい方はここをクリックしてください。」 points to the multimedia and library workshop information section.

▼同志社大学 総合情報センター報 No.28 2004年9月24日発行

編集・発行:同志社大学総合情報センター 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

Tel:075-251-3960 Email:ji-gakjo@mail.doshisha.ac.jp

<http://www.doshisha.ac.jp/gakujo/index.html>